

令和元年度 自己評価・学校関係者評価書

令和2年 月 日
認定こども園中央幼稚園

1 幼稚園の教育目標

正しく（良い事、悪い事の判断を身につけよう。悪いと思う事をしない勇気を持とう。）
強く（心身ともにたくましくなろう。）
仲良く（親、兄弟、友だちを思いやり、感謝し、仲良く生活しよう。）

2 本年度の重点課題（学校評価の具体的な目標や計画）

幼保連携型認定こども園としての運営が軌道に乗り定着してきている。年度途中で幼児教育無償化となり保護者からの問い合わせが増える為、教職員間で情報共有し、統一した受け答えができるよう努めていく。また、引き続き一人ひとりの子どもの各家庭環境に合わせた保育が提供できるようにしていく。

3 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由	関係者評価
① 保育の計画性	3.82	保育は計画的に行われているが教育・保育要領に関する理解度が低く、今年度も職員間で話し合いの場が少ないように感じられる。今後より話し合いの場を設け、理解を深めて頂きたい。	3.8
②保育のあり方 幼児への対応	3.88	子どもの健康と安全への配慮は徹底して行われている。子どもの年齢や発達に応じた適切な関わり方が出来ていると感じる為今後も継続して頂きたい。	3.8
③教師として資質 能力、適正等	3.87	園内外はきちんと清掃や整理整頓され、子どもたちが過ごしやすい環境作りがされている。引き続き子どもや教育に関する情報をとらえるよう努めて頂きたい。	4
④保護者への対応	3.94	保護者への迅速な対応と情報の周知徹底ができています。引き続き怪我・トラブル・クレーム・ヒヤリハットを職員間で情報共有し、父兄へも園での様子を伝えるように努めて頂きたい。	4

⑤地域の自然や地域との関わり	3.46	近隣住民との親しみを込めた挨拶や小学校との交流も引き続き行われているが小学校との連携を今後より深めて頂きたいと感じる。	3.4
⑥研修と研究	3.64	今年度も各教職員が経験年数に応じた研修に参加し、その後の情報共有も行われている。今日的課題に関する研修や研究への参加を増やし、各教職員の知識を深めて頂きたい。	3.7

4 本年度の重点課題の総合的な評価結果

<p>1. 幼保連携型認定こども園に移行し3年目で運営や父兄への対応は定着してきているが幼児教育無償化に関する問い合わせも増えた為、今後も教職員間で情報共有し、統一した受け答えができるよう努めて頂きたい。</p> <p>2. 計画的な保育が行われているが、認定こども園教育・保育要領についての話し合いや園内研修の機会が少ないと感じられる為、今後機会を設け各教職員が理解を深める努力をして頂きたい。</p>
--

5 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
保育者としての姿勢 (計画的に業務を進める)	園の教育方針・教育理念・認定こども園教育・保育要領について教職員間で話し合う機会を設け、理解を深め、ていきたい。お互いの保育を見せ合う機会を増やしたり、クラス・学年の枠を超えて子どもの様子を理解し、教職員一丸となり子どもや保護者へ平等に対応できるように情報共有を大切にしていきたい。

6 学校関係者評価委員会からのコメント

<p>認定こども園3年目となり運営や父兄への対応も安定したと感じられました。引き続き充実した教育内容は変わらず、知育徳育体育のバランスのとれた教育が持続され且つ認定こども園の特色を活かし長期的な目で見えた教育が実践され、成果が見え始めていると感じられました。引き続き、子ども達と父兄へのきめ細やかな対応と認定こども園としての特色を活かした継続性のある保育をして頂くことを期待しています。今後も「子どもたちの未来のために」を合言葉に充実した保育の提供を宜しくお願いします。</p>
